令和５年度　南信州広域連合地域自立支援協議会

こども部会　　活動報告

[１]　本年度のねらい

　　・研修会、講演会を行い、地域や支援者の支援力アップを目指す。

　　・現状の中から出された地域の課題について、意見交換、情報共有等を通して、地域資源の発掘、問題解決の方法を探る。

　　・関係機関同士の横のつながりを作り情報共有と連携をはかる。

[２]　部会の開催及び取り組み内容

　第1回（5月26日） 31名参加

　　　　　・正副部会長の承認とあいさつ、部会員自己紹介

・自立支援協議会について　・令和4年度活動報告と令和５年度活動計画について

　　　　　・関係機関、事業所の紹介

　　　第2回（7月7日）　33名参加

　　　　　・圏域内の児童虐待対応の現状について（講師：飯田児童相談所）

　　　　　・児童虐待に関する関係機関との連携（講師：飯田市こども課保健師）

　　　第3回（9月15日） 38名参加

　　　　　・学習会「不登校支援についてー教育委員会の対応について」（講師：教育委員会主事）

　　　　　・教育支援センターの見学

第4回（11月14日）　88名参加

　　　　　・人材育成部会との合同専門研修会

・障がい児支援アドバイザー事業の実践報告

・講演会『ライフステージにそった本人支援と家族支援』（講師：福岡寿先生）

　　　第5回（12月15日）　18名参加

　　　　　・グループワークの中で合同専門研修会の振り返りと課題の共有

　　　第6回（2月15日）　24名参加

　　　　　・令和5年度のまとめと令和6年度にむけて

【成果】

　・子どもに係る支援機関やサービス提供事業所等のそれぞれの事業内容や取り組み、役割を知り、直接顔を見ての開催で横のつながりが作りやすく、後に実際の連携につながった。

　・支援する中には虐待につながるリスクの高い家庭もあり、保護者支援についてどのような視点を持って予防的に関るとよいのか学ぶことができ、支援の幅を広げるきっかけになった。

・昨年に続き開催した合同研修会では、社会性の誤学習をさせない支援や、本人の相談する力を育てる関りなど学び、参加者がそれぞれの立場で日々の支援を振り返る機会になった。職場や事業所、地域に持ち帰って共有するなど、実務へのモチベーションにつながったといった感想が聞かれた。

・事業所とその他支援機関ごとのグループワークはそれぞれに話が深まり好評だった。

【令和６年度にむけて】

・支援者が学びたい内容に沿った研修会や学習会の企画と、開催後の振り返りを行い、日々の支援の振り返りや現状の課題共有等を行う

・関係機関・事業所の紹介と情報交換を行い、横の連携の強化を図る。